

府中市立地適正化計画改定(案)パブリックコメント

【実施概要・回答者数】

実施期間 : 令和8年1月7日(水曜)~令和8年2月6日(金曜)
 素案の閲覧 : 市役所3階都市デザイン窓口、上下支所窓口、ホームページ
 意見の回答方法: 郵送、メール、FAX
 回答者数 : 2名

項目	意見概要	回答
第3章P3-5 地区2	河川空間は隣接地域も含めて、安全な空間でなければならない。「治水ファースト」の観点から河川空間を安全な空間とし、その上で賑わいづくりを検討する必要がある。	ご意見の項目は、府中市都市計画マスタープランからの引用部分ではありますが、地域資源の活用にあたっては安全性の確保が第一であることには変わりはありません。河川空間の活用にあたっては同様の考えをもって検討して参ります。
第8章P8-1 目的	災害リスクの低い地域への居住の推進について、行政が賑わいづくりを行うことで災害リスクが生じた場合、その賑わいづくりを見直し、災害リスクの解消を図っていただきたい。	行政の施策によって、災害リスクが高まることはないよう、計画を検討して参ります。
第8章P8-3	災害種類「家屋倒壊等氾濫想定区域」「大規模盛土造成地」「土砂災害警戒区域」「地震」の備考欄について、具体的な河川名、および、具体的な箇所を可能な限り、記載してほしい。	防災指針の策定にあたって、分析の対象となる災害を「表8-3」に記載しております。なお、それぞれの災害リスクについては、以降のページで分析をする中で箇所等の記載もしくは表現が困難なものは、図で示しております。
第8章P8-26	マップの紫色は「家屋倒壊等氾濫想定区域」を指しているのですか。地図下の「家屋倒壊等氾濫想定区域」はピンク色に見えて、色の濃さが一致するように見えない。そのため、マップの紫色（もしくは紫色に見える濃いピンク色）の区域が何を指しているのかわからない。	「家屋倒壊等氾濫想定区域」と「浸水想定区域」が重なり、凡例と異なる表記になっておりましたので、凡例と同様な色となるよう調整いたします。
第8章P8-30 P8-31	砂川だけでなく、出口川沿いでもグリーンインフラ整備をしてほしい。	防災面や地域資源を活用し水辺と親しみ、歩いて楽しめる空間の創出に向けて「水とみどりのネットワーク」の形成について、関係機関と協議・検討を踏まえて進めて参ります。
第4章	中心市街地では、長い年月の間に昔からあった店舗が多く閉店した。地域住民にとって便利な住宅地になれば良いと思う。そのためには、新たなスーパーや書店など来てもらうのが良いのではないか。	中心市街地においては、古くからある店舗が閉店される状況が確かにあります。しかし、近年においては、新たなスーパーマーケットやドラッグストア等、生活利便性を向上する店舗の出店がありました。また、地域に魅力を感じ、個人で店舗を開業する起業家の方も現れています。こうした状況を踏まえ、本計画改定を機に、生活利便性の向上において、さらに取組を進めて参ります。
その他（PDFについて）	計画の公表について、本編一括版のPDFデータも公表いただきたい。	改定版を公表する際には、併せて、本編一括版のPDFデータも公表いたします。